



航空宇宙事業における使命

2018年4月に伊藤忠商事株式会社の航空宇宙部長に就任しました藤川でございます。

弊社の航空宇宙グループは、航空宇宙部を主体として、伊藤忠アビエーション(株)、日本エアロスペース(株)、ITOCHU Aviation, Inc.等の中核事業会社を有し、弊社が筆頭株主をつとめる(株)ジャムコを含め、グループ経営を強化しています。

防衛関連事業は、航空宇宙部と、伊藤忠アビエーション(株)、米国のITOCHU Aviation, Inc.による三位一体経営の中で推進しています。民間航空関連事業では、昨今の航空旅客需要の高まりを捉えて航空機リース事業を強化、また、ギャレーや化粧室において圧倒的シェアを持つ(株)ジャムコを中心に航空機内装品事業にも注力しています。日本エアロスペース(株)は防衛・航空機・セキュリティ・先進技術分野等のニッチ市場における需要を的確に捉えて事業展開し、成長を継続しています。

弊社の従業員数は約4,300名ですが、国内外の事業会社を含めると100,000名を超える規模になります。その中で、航空宇宙グループの人員数は連結ベースで約300名（持ち分会社のジャムコを除く）であり、その少数精鋭部隊が、防衛関連事業と民間航空関連事業にあたっています。防衛関連の組織員は、防衛省や国内外の航空宇宙・防衛メーカーとの取引を通じてアジアにおける日本の安全保障と外

交防衛の一端を担うという使命を持って、また、民間航空関連の組織員は、航空機とその内装品や装備品の取扱いを通じて航空輸送の拡大に貢献するという使命を持って、日々精進しています。

防衛分野においては、昨年末に新たな防衛大綱と次期防衛力整備計画が閣議決定を受けました。政府や防衛省が標榜する陸・海・空に宇宙・サイバー・電磁波を含むすべての領域における能力を有機的に融合した「多次元統合防衛力」の構築に向けて、どのような貢献ができるかを熟考し、国内外のパートナーと共に提案活動を進めてまいります。

また、民間航空分野においては、向こう20年間で30,000機以上の旅客機が製造され、その市場規模は5兆ドルといわれています。LCCの台頭やアライアンスによるエアラインの寡占化が進む環境下、エアライン各社が安心して航空機を運航するために、また搭乗客により快適な空間を提供するために、航空機リース事業の進化及び新たな内装品の提供を進めていく所存です。

最後に、防衛・民間航空に関係なく、AI・自動化・電動化等の流れに乗って全く新たな防衛装備品や航空機及びその搭載品の研究・開発が進むと予想されます。我々も航空宇宙事業の次世代化を使命として積極的に取り組んでまいります。